



てき丸君News 第13号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

第23回理事会を開催

当連合会の第23回理事会を3月10日に開催しました。今回の理事会では、当連合会の平成27年度事業計画案並びに収支予算案を審議・承認いただいたほか、平成27年度表彰選考委員会の委員委嘱、賛助会員の新規加入（一般社団法人日本環境アセスメント協会様）が承認されました。

また、協議事項として、①低炭素社会実行計画案の作成進捗状況、②平成26年度収支決算見通し、③第5回定時総会運営概要、などの事項を議論しました。このうち当連合会の第5回定時総会については、6月12日（金）午後1時30分から、明治記念館（東京都港区元赤坂2-2-23）で開催することが決まりました。（総務部・古川）

委員会・部会便り

●教育研修委員会●

平成26年度第2回教育研修委員会を3月5日に開催しました。委員会では、主に平成27年度許可講習会連合会講師（業務管理）の推薦や講師研修会のカリキュラムなどについて検討したほか、許可講習会事業の円滑な実施に向け事務取扱説明会を開催したことなどを報告しました。また、平成27年度も引き続き円滑な実施にむけて、振興センターと協議していくことを確認しました。（事業部・横山）

●最終処分部会早期安定化分科会●

平成26年度第3回最終処分部会早期安定化分科会を3月27日に開催し、全国の最終処分業者25名が参加しました。分科会では、最終処分場を適正に維持管理し、早期の安定化を実現するために必要な排出事業者と最終処分業者の責任の明確化と役割分担について意見交換を行いました。今回出された意見を事務局が整理したうえで、引き続き明確化していくこととなりました。

（調査部・香川）

官公庁関係ニュース

●水銀規制関係●

「水銀による環境の汚染の防止に関する法律案」及び「大気汚染防止法の一部を改正する法律案」が、3月10日に閣議決定され今通常国会に提出されました。

<http://www.env.go.jp/press/100686.html>

（調査部・日浦）

●災害廃棄物対策の動向●

災害廃棄物対策に関する法案として、「廃棄物処理法及び災害対策基本法の一部を改正する法律案」が、3月24日に閣議決定され今通常国会に提出されました。また、同日に「第5回平成26年度巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会」が開催され、閣議決定を受けた法律案の概要が環境省より説明されたほか、大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針（仮）に盛り込むべき事項（案）などの検討が行われました。

・法律案の概要 <http://www.env.go.jp/press/100779.html>

（総務部・古川）

●平成26年度補正予算 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金【経済産業省】●

①最新モデル省エネルギー機器等導入支援事業（A類型）

https://sii.or.jp/category_a_26r/shinsei/note.html

②地域工場・オフィス・店舗等省エネルギー促進事業（B類型）

https://sii.or.jp/category_b_26r/first_announcement.html

平成26年度安全衛生セミナー開催報告

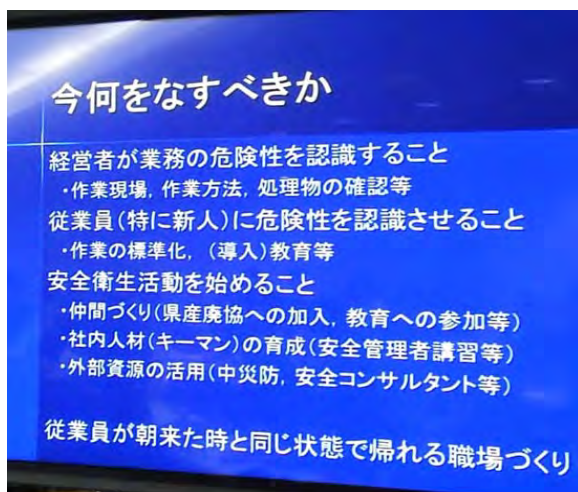


挨拶する武田委員長

当連合会では、平成27年3月3日、東京都内の主婦会館プラザエフにおいて「平成26年度産業廃棄物処理業における安全衛生セミナー」を開催し、全国から82名の方にご参加いただきました。

セミナーは、連合会安全衛生委員会委員長の武田全弘氏の「産業廃棄物処理業界には未だ事故が多く、業界を挙げて安全衛生活動へ取り組むことが必要」との挨拶で始まりました。

講義は、連合会安全衛生委員会委員の長谷川滋氏から「リスクアセスメントの概念と効果」と題し、産業廃棄物処理業界の労働災害発生状況から見たリスクアセスメントの必要性とその具体的な実施方法について講演があり、その後、参加者が4人1グループとなり、リスクアセスメントを体験して頂きました。



長谷川委員の講義用スライド資料より

続いて、連合会安全衛生委員会委員の三谷哲也氏から「安全衛生活動支援ツールについて」と題し、連合会が作成している安全衛生活動支援ツールの使用方法等についてご紹介いただきました。

最後に、連合会の森谷専務理事から、「連合会として、今後も産業廃棄物業界への安全衛生活動の普及啓発に努めていきたい」との閉会挨拶があり終了しました。

(調査部・鈴木)

※当連合会安全衛生委員会では、産業廃棄物処理業者の安全衛生活動を支援するツールを連合会ホームページに無料で公開しています。ぜひご活用ください。

<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/07/>

連合会よりお知らせ

●産廃処理業景況動向調査結果について（2014.10-12月期）●

2014年10-12月期の景況判断DIは▲23となり、前回調査（▲20）より3ポイント減と4期連続で悪化しています。

「従業員の不足」、「人件費の増加」が上昇傾向にあり、人手不足にともなう人件費上昇が引き続き業績を圧迫しています。

http://www.zensanpairen.or.jp/federation/02/06/keikyou1410_12.pdf

(調査部・戒能)

●平成27年度第1四半期のセーフティネット保証5号の指定業種となりました●

産業廃棄物処理業における業況の悪化を反映して、産業廃棄物処理業の4業種（産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業）が平成27年4月1日から6月30日までの対象業種に指定されました。

(調査部・戒能)

平成27年度海外展開セミナー開催報告

当連合会では、平成27年3月20日、東京都内の主婦会館プラザエフにおいて「産業廃棄物処理業の海外展開に向けて～基礎知識とその具体事例～」を開催し、全国から49名の方にご参加いただきました。

講演に先立って、全産廃連の尾崎理事が「海外展開の課題解決に繋がる知識や事例を共有する機会をつくり、産業廃棄物処理業者が海外展開の一層の検討に資するため、本セミナーを開催する」と挨拶を述べました。



講演では、まず、環境省廃棄物・リサイクル対策部循環型社会推進室企画官の富坂隆史氏から「我が国循環産業の海外展開促進に関する環境省の取組」と題し、国際展開を支援するための今後のスキーム展開などについてご講演頂きました。

次に、独立行政法人国際協力機構国内事業部中小企業支援事業課課長の中川岳春氏から「中小企業海外展開支援～日本の技術 世界を変える」と題し、中小企業海外展開支援の背景、開発途上国における廃棄物事業の現状などについてご講演頂きました。

休憩をはさんで、既に海外展開を行っている事業者からの事例として、株式会社東亜オイル興業所新規

事業開発室室長の杉本浩生氏より「中国における廃油リサイクル事業」、萬世リサイクルシステムズ株式会社執行役員経営企画本部長の小西武史氏より「フィリピン国セブ市資源循環推進事業創出に関する普及実証事業」と題して発表頂きました。

最後に、全産廃連森谷専務理事から閉会挨拶があり終了しました。

(調査部・戒能)

●INDUST 4月号特集「続・産廃判例を識る」●

これまで、INDUSTにおいては、廃棄物処理業者や排出事業者に対して、廃棄物処理法のもとでの産業廃棄物規制に関する裁判例等を平易に解説する取組みを行ってきました。今回は、2012年3月(27巻3号)ですが、それ以降も、注目すべき裁判例が出されています。そこで、本特集においては、「続・産廃判例を識る」として、15本の裁判例を取りあげて解説をしています。

(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (4月13日～5月15日)

【4月】

- 13日 第9回タスクフォース会合
- 15日 第98回青年部協議会幹事会
- 21日 表彰選考委員会
- 22日 実務者研修会講師打合せ
- 27日 全国正会員事業研修(その1)

28日 平成27年度第1回中間処理部会
運営委員会

【5月】

- 15日 全国正会員事業研修(その2)

